

A.J.U

～すべての障害者に社会的自立を！～

1980 第124号



6月27日、ちょっと遅くなりましたが、社会福祉法人1980の設立10周年を祝う会が行われました。

今まで1980がお世話になった関係者の方々、地域の方々、ボランティアさんにもご参加いただき、障害を持たれたメンバー、親の方々、職員でお祝いをしました。

メンバーは、いつもと違う一日に、ドキドキワクワク！楽しかったね。

7月23日(土)には、毎年恒例の臨海学習を行いました。

今年はお天気にも恵まれ、福祉バスに乗って山海海岸に行ってきました。

浮き輪やボートで果敢に波に挑戦したメンバー！波にもまれて、身体も心もたくましくなったかな？



みんな集まれ～！！



12月24日(土)

クリスマス会

in 守山区役所講堂

平成二十八年九月二十七日(毎週火曜日)

AJU 通関一三三六七増刊

昭和五十四年八月一日第三種郵便物認可

社会福祉法人1980

平成27年度事業報告及び平成28年度事業予定

平成27年度 法人事業報告

平成27年度は、2つの新たな事業に取り組みました。1つは、「高齢者」の事業、もう1つは「障害児」の事業です。

4月から始めた高齢者の事業は、高齢者へのヘルパー派遣事業です。今まで障害を持たれた方への派遣を行っていた、地域生活支援センター「Heart Link」が、介護保険の事業所指定を受けて、高齢者へもヘルパーの派遣を開始しました。

7月からは、「放課後等デイサービス 遊」を開始しました。障害を持つお子さんに対し、放課後や休日・夏休み等の長期休暇に、個々の発達に向けた支援を行う事業です。定員10名の事業で、小幡緑地西園の裏の建物で行っております。社会福祉法人1980の「今」だけでなく、「これから」を考えた時に、どちらの事業も必要不可欠との認識に立ち、事業を開始しました。当たり前ですが、「障害児」が歳を重ねれば「障害者」になり、「障害者」が更に年を重ねれば「高齢者」になるのですから。既に事業所が乱立する両分野に飛び込んだため、困難に多く直面しますが、少しずつ運営を軌道に乗せていくことを目指して、両事業に取り組んでおります。

一方で、「重度障害者の新たな地域生活の場」と「高齢者の豊かな終の棲家となる地域生活の場」の確保として、障害者の「グループホーム」と高齢者の「小規模多機能型居宅介護事業所」の施設整備を進めてきましたが、障害者のグループホームに対する平成27年度の施設整備補助金が決定したものの、設計図面の問題等により、決定した予算の平成27年度中の執行が間に合わなくなり、整備計画は白紙に戻りました。障害者の「グループホーム」につきましては、引き続き事業開始に向けて整備に取り組んでいきますが、高齢者の「小規模多機能型居宅介護事業所」については、介護保険制度の改正なども踏まえて、見込みのある事業を再検討していきます。

平成27年度は、法人格を取得し、平成18年7月に福祉ホーム愛を開設してから10周年という



節目の年でした。遅ればせながら、28年6月17日に10周年を祝う会を行いました。一緒にお祝いをしてくださった皆さん、ありがとうございます。1980のこれまでの歩みをふりかえりつつ、1980のこれからを考える重要な機会となりました。社会福祉法人改革が声高に叫ばれ、ついに改革が動き出そうとしております。各種制度改正など時代の流れを注視しつつも、その流れに流されることなく、これまでの1980の歩みのように、「どうしたい」という強い気持ち・理念を持って、自分たちの道を歩んで行けたらと思います。今後とも更なるご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(職員 小池征司)

平成27年度の法人の決算報告の概要は以下の通りです。

収 入		支 出	
介護保険事業収入	59,457	人件費支出	108,635,832
障害福祉サービス等事業収入	147,800,808	事業費支出	7,479,268
借入金利息補助金収入	601,600	事務費支出	12,157,510
経常経費寄付金収入	2,610,000	支払利息支出	1,314,720
受取利息配当金収入	35,583	その他の支出	1,607,312
その他の収入	3,065,855	設備資金借入金元金償還支出	6,405,500
施設整備等補助金収入	1,416,400	積立資産支出	4,530,000
積立資産取崩収入	46,500,000		
前期末支払資金残高	116,812,509	当期末支払資金残高	176,772,070
合 計	318,902,212	合 計	318,902,212

社会福祉法人1980では、昨年度に引き続き、以下の事業の運営を行います。

- 地域生活支援センター「Heart Link」・・・居宅介護事業（障害者ヘルパー派遣）
訪問介護事業（高齢者ヘルパー派遣）
- 福祉ホーム愛・・・福祉ホーム（地域での生活の場の提供）
- 重度障害者活動拠点「1980夢」・・・生活介護事業（日中活動の場の提供）
- 指定短期入所事業所 夢・・・短期入所事業（緊急時のショートステイ）
- 指定相談支援事業所 ひらけごま・・・相談支援事業
- 放課後等デイサービス 遊・・・放課後等デイサービス（障害児対象デイサービス）



社会福祉法人 10 周年を祝う会



平成28年6月27日

社会福祉法人1980は、平成27年12月に法人設立10周年を迎えました。本当にあっという間の10年でした。これもひとえに、1980を応援してくださる多くの皆様のご支援の賜物です。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。そして、これからも、社会福祉法人1980をどうぞよろしくお願い致します。

そこで…、少し遅くなりましたが、6月27日に「社会福祉法人1980 10周年を祝う会」を行いました。

当日は、日頃よりお世話になっている地域の皆様、法人役員、賛助会員の方々、メンバーとご家族の方々、職員…多くの方にお集まりいただくことができました。

まず、ご参加いただいた方々にお言葉をいただいた後、みなでお食事会。そしてその後は…1980恒例の職員による余興でお楽しみ(?)いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。

そして、夕方からは、法人役員の皆様、職員にお集まりいただき、社会福祉法人1980ができるまでの親の会の活動と、法人格を取得してからの10年の歴史について振り返り、さらに

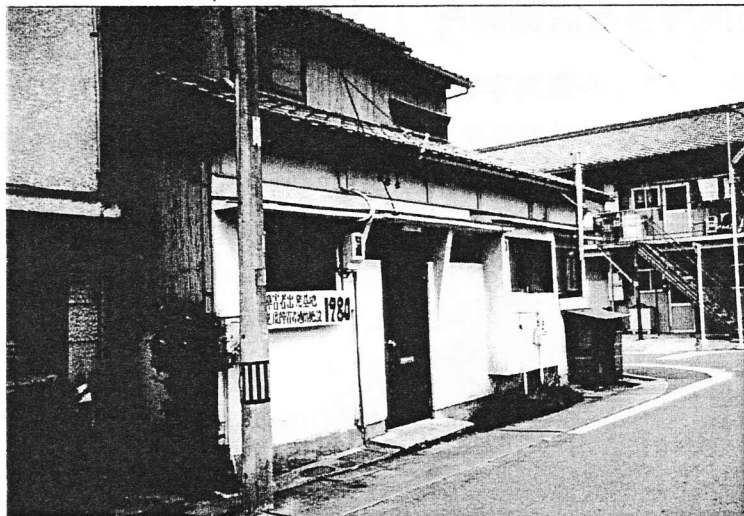


これからの1980について話し合いを行いました。

↑ 20年前のクリスマス会
宇山区役所講堂にて

前半では、1980の歴史をよく知る親の方、大半を知っている古株の職員、ほと

一番最初の通所施設です。借家でした。



んど知らなかった新しい職員が、写真などを用いて、これまでの歴史を振り返りました。その中で、重心児の親の会設立当初の思い、日中の活動の場所を障害の重いメンバーの社会への出発基地という思いを込めて「障害者出発基地」とし、メンバーとともに社会に飛び出していったこと、「制度が

ないなら、自分たちで始めよう」と介助者の派遣やショートステイを行ってきたこと、そしてそれらの思いや経験が今の1980の理念につながっていることを改めて共有することができました。

そして、後半では、これからの福祉がどう変わっていくのかを学び、その中で社会福祉法人1980はどんな進路を選択していくべきなのかについてみんなで考えました。

親の会設立当初、社会福祉法人設立当初、そして現在…と社会は驚くほど様変わりしています。もちろん、メンバーにとってうれしい変化があれば、逆に福祉がサービスになり、自分の思いを伝えることが難しい障害の重いメンバーが中心ではなく、サービスを選択する家族やサービスを提供する事業者が中心となってきてしまっている等、福祉の後退とも取れる一面もあります。

それらの変化を受け止めた上で、障害の重いメンバーも社会の一員であるという私たちの理念を守りつつ、法人としても変化していくことが必要であると考えています。

これから私たちが個々にどんな役割を担っていくのか…一人ひとりが具体的に考えて実践していくことが必要です。（職員：足立由紀）

現在の通所施設です。→





重度障害者活動拠点「1980 夢」



～臨海学習～

今年も、メンバー、親の方、職員、学生ボランティアサークル「おでん」、当日ボランティアさんで、臨海学習に行ってきました。場所は、知多半島の南知多町にある山



海海水浴場です。今回は、「民宿かねいし」さんにお世話になりました。

当日は曇り空で暑さはあまり感じられず、むしろ肌寒いような様子でしたが、何のそのっ！！ボートに乗って波に揺られたり（※スタッフに揺らされたり）、浮き輪で海に入ったり、波打ち際で海を体感したり、砂浜で遊んだりと、

色々な楽しみ方をして過ごしました。

スイカ割りでは、なかなかスイカが割れず、ちょっぴり、いや、かなりヤキモキしましたが、それもまた行事の醍醐味。割れてからはみんなでおいしくいただきました。

行事のたびに思うことがあります。それは、「人」は本当にありがたい、ということです。メンバーの介助をする「人」、砂浜でテントを建てて準備する「人」、車いすのメンバーが砂浜まで移動するための担架を持つ「人」、メンバーが乗ったボートに付き添う「人」、メンバーが民宿を利用しやすいように配慮していただいた「人（かねいしさん）」・・・、いろいろな「人」の協力があって、メンバーと一緒に楽しく海に行けたんだなあと思うと、本当に感謝の気持ちでいっぱいになります。

参加していただいた皆さん、民宿かねいしさん、本当にありがとうございました。

（職員：石川敬三）

～自分と違うかも？～

今年も「おこさまらんち」やっています。9月～10月にメンバー・職員・学生ボランティアさんで地域の保育園、幼稚園を訪問し、園児さんとメンバーの交流会を行っています。

この「おこさまらんち」の活動は、振り返ってみると、およそ20年近く続いています。今年のおこさまらんちスタッフの学生さんの中には、自身が幼少期に保育園でおこさまらんちの会に参加していた方もいます（本人は全く覚えていないとのことですが…(T_T)）。

対象の園児さんは、年長児クラス（5歳）です。子どもによって様々ですが、年長さんの時期は自己のコントロールができるようになり、協調性がグンと伸びる時期です。つまり、相手と自分の違いに気づいたり、その違いを考える力がつく時期です。

おこさまらんちの車いすメンバーをみて、多くの子ども



たちは最初にまず戸惑ったような固まったような表情をします。単純に、初めて出会う人たちとこれからの時間何が起きるか分からなければ当然緊張や不安はあると思いますが、ほとんどの子の目線は車いすに乗った障害をもつメンバーをじ〜っと見ています。子どもたちにとって、この戸惑いも含めた出会いがスタートです。僕たちは子どもたちのその表情や反応を受け止めて、言葉かけやその時間の関わりを進めていくことが大事と考えています。ごく短い交流会の時間の中で、一人でも、一緒にいて楽しかったと思ってもらえたら、メンバーや職員の役割は多少でも果たせたのかなと思います。今回も、はしゃぐメンバーを見て「〇〇さんおもしろーい」と言ってくれる子もいました。優しさとか、感動とかではなく、障害云々を説明するのではなく、一緒にいて楽しい時間を共有できる出会いの場を作ることを目指しています。

20年近い活動の中で社会の様子も少しずつ変わってきています。子どもたちの「あれ？自分と違うかも？」という気づきや思いから、その相手を受け入れるようになることはとても大事です。今は多様性の時代と言われています。「自分らしくあろう」とみんなが願い、子どもたちもこれからそういう教育をうけます。

その時に、「自分らしくある」ために「他人を受け入れない」という方法をとってほしくないと思います。他人の良いところや悪いところも認め受け入れることができる、そして自分自身のいいところやわるいところも認め受け入れることができる、自分も大事、周りにいる人たちも大事、そんな将来を夢見て、おこさまらんちは小さな小さな種をまき続けていきます。

（職員：足立保）

バザーのご協力、ありがとうございました！

- ☆ 白沢盆踊り大会 平成28年 8月 6日(土) 純利益 36,144円
- ☆ 守山元気まつり 平成28年 9月25日(日) 純利益 89,984円

職員募集

重度の障害をもたれた方の一人ひとりの社会的自立に向けて、日中の活動を共に考え、一緒に活動して下さる職員を募集しております。 ※ヘルパーも募集中！

ボランティア募集

メンバーの地域生活をお手伝いして下さいますか？ちょっとした空き時間で食事作り、送迎等のボランティアをして下さる方を募集しています。

賛助会員募集

1980 後援会では、社会福祉法人 1980 を支援して下さる賛助会員を募集しております。ご協力よろしくお願いします。

1980 後援会 賛助会費 ・個人：一口 3,000円 ・団体：一口 5,000円

たすけて募金

平成17年末、法人認可を受け、平成18年7月に福祉ホーム愛がオープンしました。また、平成22年4月には重度障害者活動拠点「1980 夢」の新施設も完成しました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力のたまものと心よりお礼申し上げます。

福祉ホームでの、メンバー（利用者）の生活も軌道に乗り、重症心身障害者の地域生活のあり方について、これからもさらに可能性を広げていきたいと考えております。

今後もメンバーの方一人ひとりが、知っている方たちの中で安心して暮らしていけるように、一同一層の努力をいたす所存でございますので変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

<募金振込先> 三菱東京 UFJ 銀行
支店・番号 小田井支店 (238)
口座名 1980 代表 久留島光保子
口座番号 普通預金 1113697

※一口 1,000円です。何口でも結構です。

第124号 平成28年9月27日 定価50円

AJU 心身障害児・者の療育、作業、自立施設を作る会 1980

代 表 久留島 光保子

名古屋市守山区川東山 2301 番地 TEL/FAX 052-791-9160

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nagoya1980>